

学校教育計画

(1) 学校のミッション

病弱教育部門の特別支援学校として、児童・生徒の自立と社会参加に向け、医療の管理下におかれている子どもたちの、不安やストレスを軽減させ、安心して学習できる支援と教育環境の整備に取り組む。

また、病弱教育のセンター校の核として、転出後の児童・生徒が安心して学習活動に移行できるよう、病院、市町村、在籍校、在籍校近くの特別支援学校をつなげる支援を行う。そして、ICT機器等の有効活用による、教育の充実に取り組む。

(2) 学校教育目標

○入院中の児童・生徒一人ひとりが安心して学びを継続し、個々の課題に応じた授業を実践する。

○ICT機器等の有効活用による環境整備を推進し、多様な授業の実践・研究を推進する。

○病弱教育のセンター校として、組織的な支援を推進する。

(3) 計画策定時点での課題

○年間の在籍児童生徒数の変動、多様な授業形態(教室、施設、病棟学習室、ベッドサイド等)の中で教育実践を行っていくため、学部の枠を超えた学校全体で授業に対応していくことが課題である。

○授業改善をさらに推進し、児童・生徒一人ひとりの自立と社会参加につながるよりよい授業を実践していくことが課題である。

○高等学校等への進路指導を適切に行っていくことが課題である。

○学部・部門での指導、校務グループでの業務を組織的・合理的に行っていくことが課題である。

(4) 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の自立と社会参加を目指した教育活動を実践する。 ・ICT機器等の有効活用による多様な授業の実践・研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学習の充実が図れるよう、新学習指導要領の理念を生かしつつ、柔軟かつ多様な教育活動を実践する。 ・ICT機器を用いた深い学びにつながる教育活動を実践し、その成果を発信・共有する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人ひとりの個性や医療状況を尊重し、教育的ニーズに応じた指導・支援を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の自己理解、他者理解を深め、自分も他者も大切にする指導を行う。 ・一人ひとりの児童・生徒についての的確な情報共有を行い、学校全体で教育を展開していく。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の生活の充実を目指し、キャリア教育の視点を取り入れた進路指導、移行支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が自己選択・自己決定ができるような教育活動を行う。 ・一人ひとりの医療状況や復学時期の見通しに応じた進路指導、移行支援を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育に関する理解・啓発を図り、児童・生徒の地域生活が豊かになるよう支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱教育についての情報発信や研修を行う。 ・小・中・高等学校・特別支援学校等へのコンサルテーション等により各校の支援力向上を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が同僚性を発揮して質の高い教育を展開する。 ・児童・生徒と向き合う時間を確保するために、働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が協力し、高い使命感をもって主体的・意欲的に教育に取り組む。 ・組織的な学校運営や校務の効率化を図る。